



日本勤労協第1回幹事会を開催

2月6日(木)10時30分より連合会館(東京都千代田)に於いて、第1回幹事会を開催しました。

《出席者》 宇津井・藤田・矢野・篠原・梨本・橋本

《経過報告》

各幹事からの報告事項

東北ブロック	2/29ブロック幹事会開催、6月ブロック総会予定
関東・甲信越ブロック	3月に幹事会開催、6/28～29日ブロック総会開催 栃木県連勤労協解散、新潟県連西蒲勤労協解散、
東海・北陸ブロック	12/3ブロック幹事会、5/31～6/1ブロック総会(石川県)
中国・四国ブロック	全国総会終了ご苦労様でした
九州ブロック	ブロック総会9月に予定(宮崎県)



《協議事項》

1. 日本勤労協の会費納入状況及び物資販売事業の取組状況

- (1) 2019年度勤労協会費の納入状況
- (2) 2019年度物資斡旋要請、各県連納入状況
引き続き会費納入、物資販売事業の完納を求めています

2. 日本勤労協第29回全国総会の総括について

◆開催概要

- ① 開催日時 2019年9月29日(日)14時～9月30日11時30分
- ② 会場 香川県 ことひら温泉「琴参閣」
- ③ 総会準備勤労協 香川県勤労協連合会
- ④ 参加要請文と参加要請数 全体128名の参加
 - 東北ブロック 14名 (宮城4、山形3、福島6、秋田1)
 - 関東・甲信越ブロック 10名 (長野6、群馬1、新潟3)
 - 東海・北陸ブロック 40名 (福井6、富山7、静岡12、石川15)
 - 中国・四国ブロック 54名 (香川52、広島2)
 - 九州ブロック 10名 (熊本4、佐賀1、福岡1、長崎1、大分2)

⑤特別報告

(1)「まちづくりと勤労協運動」

担当県連 東海北陸ブロック（福井県連） 永平寺勤労協の活動

(2)「まちづくりと勤労協運動」

担当県連 四国ブロック（香川県連） 三木勤労協の活動報告

(3)「福島原発事故から8年現地で抱える課題」

担当県連 東北ブロック（福島県連） 双葉勤労協

(4)「オスプレイ導入反対の闘い」

担当県連 九州ブロック（佐賀県連） 佐賀勤労協

◆次期役員体制について

会 長	宇津井賢一（宮城県連）	副 会 長	藤田 利男（石川県連）
事務局長	橋本 勝六（静岡県連）	事務局次長	矢野 俊雄（熊本県連）
幹 事	篠原 清（香川県連）	幹 事	梨本 重雄（新潟県連）
会計監査	三浦 正弘（福島県連）	会計監査	伊藤 宏実（福井県連）

◆総会開催後のアンケート集約について（56名集約）

- ・ 総会感想 良かった45（80%） まあまあ9（16%） 無記入2
- ・ 総会会場についても好評価でした
- ・ 各単位勤労協で頑張っている会員の皆さんが組織の高齢化や会員減少で悩んでいる状況が出されていました

◆次期第30回全国総会の開催地について

2021年第30回全国総会の開催準備県連を九州ブロック長崎県連に要請します

開催日程については2021年9月頃を計画する

開催規模130名

（九州ブロック70名、他ブロック60名程度）



浦上天主堂

3. 組織検討委員会の設置と審議について

①組織検討委員会は日本勤労協幹事・各ブロック選出代表者5名（東北・関東信越・東海北陸・四国・九州ブロック）

日本勤労協事務担当県連（静岡県連）で構成する

②第1回組織検討委員会を9月下旬（9/25（金）予定）東京にて開催する

③審議内容は別紙により提案していく 一別紙参照

4. 次期幹事会・組織検討委員会の開催について

次期幹事会・組織検討委員会は9月25日（金）予定で東京にて開催する。

ブロックの動き・県連の動き

■石川県勤労協

「第25回フォーラム石川INかほく」を開催

11月17日（日）午後2時から、かほく市西田幾太郎記念哲学館地下1Fホールにおいて、約60名の参加のなか、「第25回フォーラム石川INかほく」が細川事務局長の司会進行のもと、開催されました。始めに、主催者代表として藤田利男県勤労協会長が挨拶を行いました。

今回は、「北陸新幹線と並行在来線について」をテーマに、石川県企画振興部 新幹線・交通対策監室から、交通対策課課長・野口隆さん、並行在来線対策課課長・成瀬英之さんに来ていただき、金沢以西の整備、検討状況や並行在来線対策について、話をさせていただきました。



金沢以西延伸後の収支試算結果について

1. 需要予測調査結果

金沢以西区間の輸送密度（1日あたりの平均通過人員）は、金沢以東区間の約7割

<金沢以西延伸時点(R5年度)の区間別輸送密度>

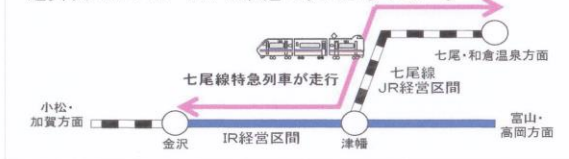
単位：人/日		
金沢以東区間	金沢以西区間	県内全区間
13,841	9,668	10,740

→ 県内全区間の輸送密度は、延伸後10年間で1割程度減少(9,767人/日)

※推計には、旅客流動調査(H29)の結果や、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」等を用いた

<参考：金沢以東区間の特殊要因>

金沢以東区間（金沢・津幡間）では七尾線特急が走行し、運賃収入はIRいしかわ鉄道の収入となっている



収入	運賃収入	288億円	需要予測調査結果から試算（運賃はJR運賃）
	貨物線路使用料 (JR貨物が支払う線路使用料)	170億円	施設保存費等の見込み額及び貨物列車と旅客列車の割合により試算
	その他収入	12億円	JRきっぷの販売手数料など 金沢以東区間の実績等から試算
	計	470億円	
経費	人件費	189億円	金沢以東の実績等から所要員数を370名程度として試算
	施設保存費 (線路・電路の維持管理費用)	175億円	金沢以東区間の実績等から試算
	運行経費等 (車両、駅舎等の維持管理費用、一般管理経費、固定資産税等)	193億円	金沢以東区間の実績等から試算
	計	557億円	
収支		▲87億円	⇒赤字額をすべて運賃値上げで賄う場合、 JR運賃と比較して1.46倍程度の 値上げが必要

(参考)収支試算の前提条件

IRいしかわ鉄道が金沢以西区間を金沢以東区間と一体で経営
【初期投資】必要な資金は金沢以東区間と同様、行政が支援すると仮定
【列車本数】現行ダイヤで試算(H31.3.16改正後、金沢以西区間は普通列車)

・需要予測調査の結果、金沢以西区間の輸送密度は金沢以東区間の約7割に留まることから、以西延伸後は約50kmの区間が加わる一方、距離の増加に見合った運賃収入が見込めない状況

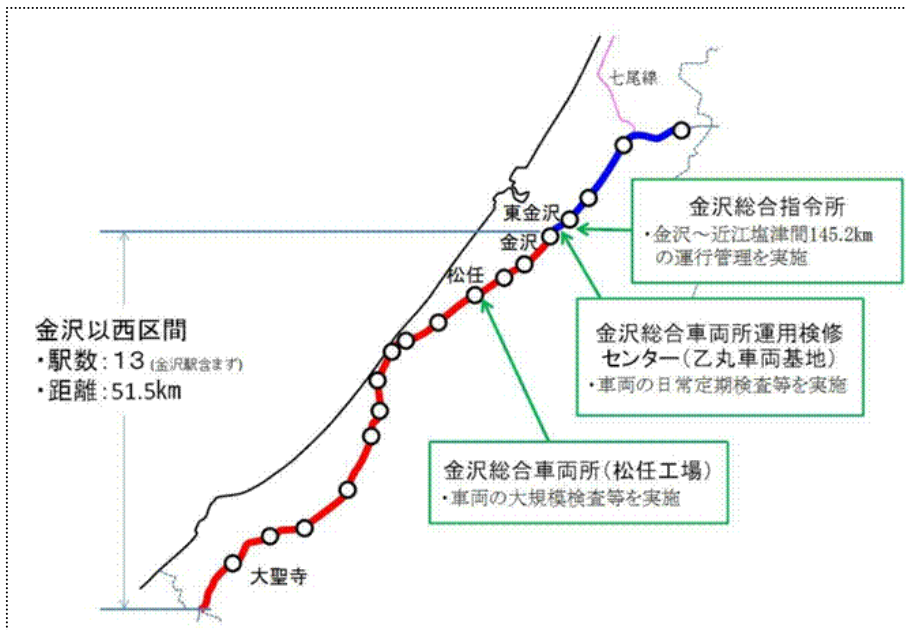
・金沢以西区間には、金沢以東区間の七尾線特急のような特殊要因なし

⇒収支は10年間累計で▲87億円の赤字、

収支均衡運賃水準（現行JR運賃比）1.46倍程度と見込まれる

<今後の取り組み>

- ①国やJR西日本に対する積極的な支援と協力の要請
- ②財務基盤の強化と安定的な経営の確保に向けた県や市町、民間による支援体制の構築
- ③さらなる業務効率化による経費節減



台風19号による被災状況から、北陸新幹線は東海道新幹線の代替補完機能にとどまらず、日本海側の大動脈の役割を果たしていることが明らかになったことや、金沢以西に延伸される並行在来線では、延伸後の赤字額を運賃値上げで補うとすると、現行JRと比較して1.46倍の値上げが必要になってくるとの試算が出ていることから、今後

の取り組みとして、①国やJR西日本に対する積極的な支援と協力、②財源基盤の強化と安定的な経営の確保に向けた県や市町、民間による支援体制の構築、③さらなる事業効率化による経費節減等が必要になるなど図や統計を示されてわかりやすく説明されました。

(石川勤協連情報 NO. 204より)

ろうきんは
はたらく人に
寄り添う、協同組織の
福祉金融機関。
だから、私の
メインBANK。

けっぴり使える
ろうきん

あなたと
わかちあう
次の一歩

rouskin

こくみん共済 NEWS

ようこそ
ありがとうございます!

こくみん共済 coop
はなまるセンター
ピットくん

—2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ—

たすけあいの輪をむすぶ
「こくみん共済 coop」スタート!

住まいる共済	防災共済・自然災害共済	こくみん共済	総合医療共済	せいのめ共済
マイカー共済	自賠責共済	団体生命共済	交通災害共済	新セット移行共済

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop